

「巣箱のへび対策 (5)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

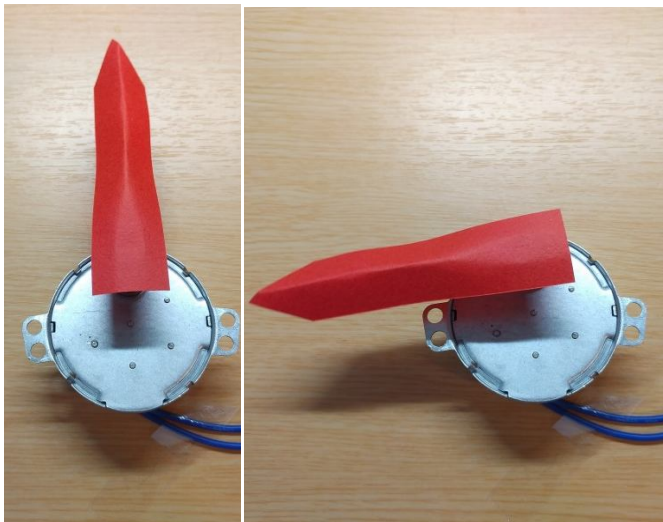
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

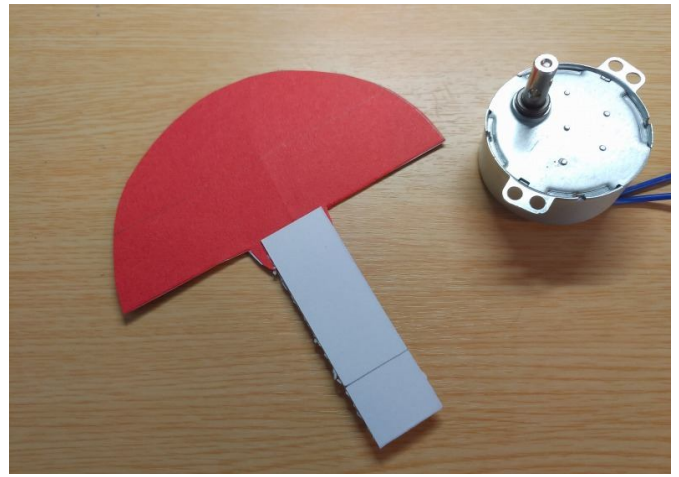
1 分間で 2.5 回転という超低速モーターは入手できた。こんな奇妙なモーターにどんな用途があるのかと、ついでに販売店の方に聞いてみた。「回転式の商品展示台等に需要がある」とのこと。なるほど、特別な電子回路なしで、100V 電源に繋ぐだけでゆっくり回るので、その種の製品には最適だろう。



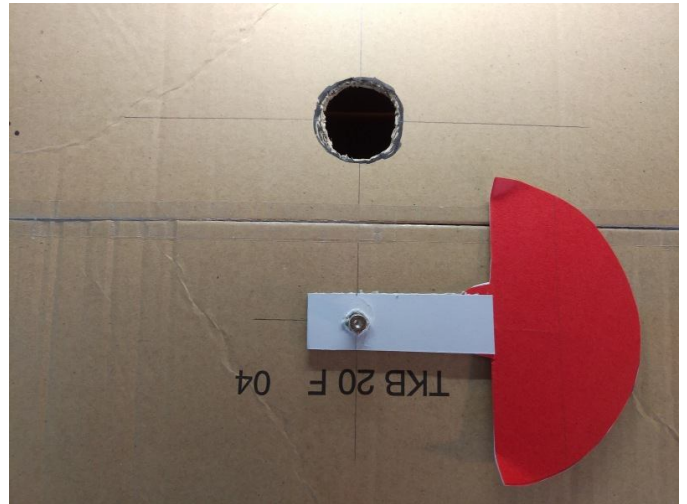
さっそく、100V のコンセントに直接繋げるように、配線を半田付けして、実験準備が完了した。実験用の直流モーターは乾電池 (1.5V~9V 程度) に繋いで使うので、100V のコンセントに直接繋ぐのはちょっと怖かったが、大丈夫だった。音もほとんど聞こえない。



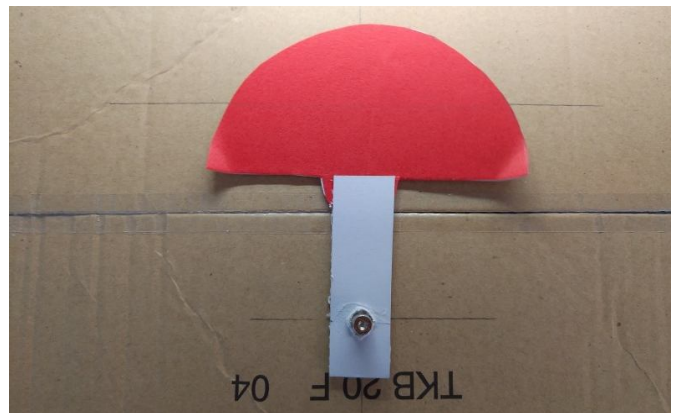
回転がわかりやすいように、時計の針のように、色画用紙で矢羽をつけておいた。左が通電前、右が通電 8 秒後である。確かに 24 秒で 1 回転した。



次に、巣箱口に取り付ける、半円形のスリットを取り付けて試してみた。モーターの軸棒には X 方向と Y 方向の両方に取り付け穴があるので、このような紙ではないものでも取り付け可能だろう。



巣箱に模した段ボール箱に、丸い穴をあけて、巣箱口に見立てる。モーターは段ボールの裏側に固定している。このように右 90° の位置でスタートし、通電 8 秒後に巣箱口を塞げば成功である。



8 秒後に通電を切ると、ピッタリと巣箱口を塞いで止まった。これなら、別のカメラで確認しながら、遠隔操作で巣箱口を開閉できる。来年春の営巣に備えて、今年中に巣箱に設置しておこうと思っている。